

# ふれあいゆる かつま

コミュニティ情報

令和3年12月1日号(第84号)

勝間コミュニティ推進協議会発行

PC やスマホでもご覧になれます

『周南市コミュニティ推進協議会』ホームページ・・・[周南市コミュニティ](#) で検索!

## チューリップを配布しました

本年度の『かつまふれあい祭り』につきましては、新型コロナウイルスの感染の状況を鑑みて、中止とさせていただきます。

その替わりとして、11月10日(水)、勝間小学校の児童の皆さんにチューリップを育てていただきたく、球根(6個ずつ)と鉢を配布させていただきました。

各ご家庭で、春に何色のチューリップが咲くのかを楽しみにしながら育てていただければ幸いです。

花が咲く春には、チューリップの写真コンテストを予定しておりますので、ぜひ応募なさってください(対象=現1年生~現5年生)。



チューリップ贈呈式の模様はライブ配信されました



配布された球根と鉢



植え方などの説明

# これからの予定

## 【どんど焼き】

- 令和4年1月8日（土）
- 詳細は「ふれあいめーる かつま」次号（令和4年1月1日）にて

## 【ウォークラリー】

- 令和4年2月予定
- 詳細は決まりしだい「勝間スポーツ振興会」からのお知らせ、「ふれあいめーる かつま」にて

## 【資源回収】

- 令和4年3月12日（土）
- 回収品目＝アルミ（缶、サッシなど）、鉄くず、  
自転車（幼児用など大部分がプラスチックのものは除く）、  
雑誌、段ボール、新聞（チラシを含む）、  
ペットボトル（飲料、調味料）

# 防災コラム

## 『防災小説』から見えてきた危険

先日、中学生による『防災小説』の発表会がオンラインで行われました。

『防災小説』とは、地震などの災害が発生したときに自分の身に何が起こるのかを想像して書かれた物語のことです。

ある発表からは、登下校で使っている通学路に迫る危険が見えてきました。下校中に突然大きな地震に遭遇したという設定で書かれたそのシーン。

『私たちはすぐに避難所の学校に向かうことにした。しかし、それは簡単なことではなかった。変わってしまった町を歩くのは、いつもの登下校の何倍もの時間がかかった。道路が冠水しているところもあった。』

「道路の冠水」というシーンは、発表者の経験から生み出されたもので、以前、大雨が降って通学路に大きな水たまりができ、ほとんど通れない時があったことから想像して書いたとのこと。

実際に何が起こるかは正確には誰にも分かりませんが、自分たちの町は住んでいる自分たちが一番良く分かっているはず。もし災害が起きたら、どこが危ないか、どこに避難すべきかを、日ごろから考える（想像する）ことが大切であると考えます。